

# 中野神明小学校・新山小学校統合委員会 要 点 記 録

## 第 1 2 回

開 催 日 時	平成28年9月16日(金)午後6時30分～8時08分	
開 催 場 所	南中野区民活動センター洋室1号	
出席者	委 員	河原井守、大川輝男、渡部金雄、山本隆良、小川恵子、 大山理奈、大川奈々、大矢進一、曇地加代子、永見俊光、 道林京子、赤津知子、三小田真乃美、岡本賢二、廣瀬淑識、 吉羽茂、小菅和子、板垣淑子、浅野昭 (敬称略、順不同)
	その他	パシフィックコンサルタンツ株式会社 子ども教育施設担当
	事務局	学校再編担当
会 議 次 第	<b>【報告】</b> 1 みなみの小学校の校歌について 2 練馬区立谷原小学校施設見学について <b>【議事】</b> 1 統合新校の校舎(中野神明小学校)の改築について 2 統合新校の校章について 3 統合新校の校旗の検討について 4 その他	

## 第 1 2 回 中野神明小学校・新山小学校統合委員会 会 議 要 旨

### 開 会

#### 委員長

定刻となったため、これより第12回の統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。

本日の統合委員会では、統合新校の校舎の改築に関して、教育委員会の施設担当職員と基本構想・基本計画の策定についてサポートしていただくコンサルタント会社の担当者が出席している。議事1「統合新校の校舎(中野神明小学校)の改築について」、説明と質問に回答していただく予定なので、よろしく願います。

それでは、議事に入る前に、事務局から2点の報告事項がある。

#### 報告(1)みなみの小学校の校歌について

#### 事務局

みなみの小学校の校歌制作について、津田雅道氏と庄司龍氏に制作をお願いしているところだが、このたび、デモテープが出来たので、お聴きいただきたい。

(デモテープ試聴)

#### 委員

優しくふんわりした感じで、とても良いと思う。

委員

あまり難しい歌詞だと、子どもたちが理解しにくいのが、小学校の校歌らしくて良いと思う。

委員

とても良い校歌が出来て嬉しく思う。

委員長

他に何か意見等あるか。なければ次の報告に進む。

## 報告(2) 練馬区立谷原小学校施設見学について

■資料「練馬区立谷原小学校の視察について」事務局から説明

### 1 視察日

平成28年8月25日(木)・26日(金) 10時～12時

### 2 視察先及び概要

練馬区立谷原小学校(練馬区谷原2丁目9番26号)

児童数 594人 21学級 (平成28年5月現在)

うち特別支援学級 12人 2学級

### 3 工事の概要

平成23年6月～平成28年3月まで

### 4 施設の概要・特色

- ・教育内容の多様化に対応できる教育環境(特別支援学級、多目的教室、調べ学習対応図書室、パソコン室、LAN)
- ・児童の生活の場としての環境整備(多目的ホール、渡り廊下の大屋根、体育館・プール用更衣室)
- ・エコスクール化(太陽光発電(30kw)、雨水利用(便所、緑化)、屋上緑化)
- ・バリアフリー(エレベーター、だれでもトイレ、スロープ、階段手すり)
- ・地域に開かれた学校づくり(学童クラブ、ひろば室、図書室、和室)

### 5 主な質疑応答

主な意見、質問	回答
改築工事を実施することになった大まかな背景は何か。	校舎の老朽化、耐震の問題で建て替えることとした。練馬区の小学校では、施設が一番新しい学校である。
エレベーターは児童も使用するのか。	けがをした児童や特別支援学級の児童は使用することもあるが、基本的には来客用としている。
運動場のトラックは何mか。	トラックは100mある。また、昨年度運動場の改修が終わり、水はけもかなり良くなった。
施設で使い勝手の良い点・悪い点を教えてほしい。	良い点 ・児童が一度に集まれるホールがあるのが便利で良い。 ・自然光が明るく、気持ちの良い校舎になっている。 ・廊下がひろくて使い勝手が良い。 ・下駄箱も指導しやすい大きさである。 悪い点 ・トイレや更衣室に死角がある。 ・校舎棟から体育館棟へ2階の渡り廊下からしか行けないため、移動に時間がかかる。

委員長

今説明のあった学校視察の報告について、参加された委員から感想や意見を伺いたい。

委員

敷地が広いので、校舎の配置にも余裕があり、明るく空間が広く使えていたところが良かった。

特に2階と3階が吹き抜けになっている場所がホールとして使用でき、全校児童で集会が出来るということだった。開放用の図書館は門から直接入れる場所にあったが、人員配置が無かったので、セキュリティの面でどうなのだろうかとの疑問を持った。屋上緑化は手入れが大変ということが伺え、たとえば地域のボランティアと連携するなどして、地域も関わっていくようなプランも良いのではないかと思った。

委員

特別教室と普通教室を挟んで幅広い中廊下式になっており、吹き抜けになっている場所は、天井から自然光が入るので、省エネルギーにもなっているということだった。学校図書館は地域に開放されていて、練馬区では、既存の学校開放運営委員会にPTA関係者、町会・青少年委員などを加えた地域住民を主体に組織されている学校応援団というものがあり、学校図書館の開放の管理を委託されているということだった。学校図書館の部屋自体も専用の入口の他、トイレなど設置されており、学校からの入口も施錠によって児童と利用者の動線が分けられていた。

委員

昇降口が一つなので、朝、全校の児童が顔を合わせるというのが、とても良いと思った。また、校舎に自然光がいろいろな場所から入ってきて、とても明るい学校だったのが良かった。

委員長

他に何か意見はあるか。特になければ議事に進む。

## 1 議事

### 議事(1) 統合新校の校舎(中野神明小学校)の改築について

委員長

それでは、議事「統合新校の校舎(中野神明小学校)の改築について」事務局の説明を求める。

■資料「計画コンセプト 統合新校校舎等整備の基本的考え方」について、教育委員会副参事(子ども教育施設担当)から説明

(概要)

#### 1 統合新校改築にあたっての基本的な考え方

中野区では、主に以下の構想・計画等を踏まえ、統合新校の校舎等を整備していく。

○中野区基本構想(平成28年3月改定)	○新しい中野をつくる10か年計画(第3次)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して産み育てられるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の育成活動等の充実と育成者支援 (小学校内へのキッズ・プラザの整備と学童クラブでの放課後のこどもたちの安全安心な活動拠点の整備)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び可能性を拓く子どもが育つまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い教育環境の整備 (学校再編による児童・生徒数や学級数の一定数確保と子ども同士の交流等、集団活動の良さを活かした活気あふれる学校運営)</li> <li>・体力向上させる取組の推進 (休み時間・放課後の外遊びの推進やキッズ・プラザ、放課後子ども教室の取組、子どもの自発的な運動を誘発するための環境整備等、遊びを通じた体力づくりの推進)</li> <li>・特別支援教育の推進 (特別支援教育の充実、全小中学校に特別支援教室の設置)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びと文化を創造・発信するまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と連携した読書活動の推進 (地域開放型学校図書館の整備)</li> </ul>

○中野区教育ビジョン(第2次)

- ・教育理念「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」
- 中野区立小中学校再編計画（第2次）
  - ・中野神明小学校、新山小学校の統合
  - ・桃園小学校、向台小学校の統合
  - ・大和小学校、若宮小学校の統合
- 中野区立小中学校施設改築等整備の考え方（平成19年8月）
  - ・学習空間としての学校
  - ・生活空間としての学校
  - ・健康・体力を増進する学校
  - ・地域コミュニティ施設としての学校
- 中野区小中学校施設整備計画（平成26年10月）
  - ・多様な学習環境を可能にし、地域活動の拠点となる施設の整備
  - ・効率的効果的な施設配置や施設設備の共同化
  - ・今後の教育環境や社会状況の変化に対応できる学校施設
  - ・快適で安全かつ安心な施設環境の確保

## 2 統合新校の校舎等整備にあたっての視点

### <教育機能>

#### (1) 高機能で多機能な学習環境をつくる。

- ・学級単位での学習のほか、チームティーチングによる学習、少人数指導、グループ学習等、多様な学習形態に対応できる施設をつくる。
- ・ICT（情報通信技術）の進展をふまえた整備や、図書室・コンピュータ室・多目的室のつながりを考慮し、「調べる」「学ぶ」「発表する」といった一連の学習が効果的に行えるような施設づくりを行う。
- ・統合新校の対象となる学校、それぞれの校風や児童の特性に留意し、既存校舎の記憶の歴史的継承を図る。
- ・児童が安心して気持ちよく過ごせる生活の場、体力づくりを進められるような充実した屋内運動場、プール、校庭の整備を図る。

#### (2) 特別支援学級・特別支援教室における特別支援教育の充実に資する施設をつくる。

#### (3) 今後の教育環境や社会状況に柔軟に対応できる施設整備や維持管理のしやすい環境をつくる。

### <施設整備>

#### (4) 学校運営上支障のない範囲で実施する校庭、屋内運動場を中心とした学校開放を踏まえ、子どもから高齢者、障害のある人にも不自由なく利用できるユニバーサルデザインによる施設づくりを行う。

#### (5) 児童たちの環境教育の充実に図るとともに、ヒートアイランド現象等の環境問題に対応するため、施設の緑化などのほか、自然エネルギーを活用した省エネ・省資源型の施設づくりを行う。

### <セキュリティ・防災>

#### (6) キッズ・プラザや地域開放型図書館等、学校運営と異なる管理主体を施設構成に含めることを想定した設計上の配慮を行う。

#### (7) 不審者の侵入防止など、十分な安全対策を講じるとともに、震災時の地域避難所としての活動を踏まえ、防災機能の充実、災害時の広域避難場所との連携や救援活動が円滑に行える施設づくりを行う。

### <コスト>

#### (8) 学校に必要な機能等を定めた標準仕様を基本とし、できる限りコンパクトな施設として必要経費の縮減を図り、改築後の後年度負担（ライフサイクルコスト）の縮減を検討する。

## 委員長

説明の内容について、何か意見等あるか。特になければ次の施設計画の説明に進む。

## ■資料「施設計画について」パシフィックコンサルタンツ株式会社から説明

### 概要

#### ○計画条件等

##### 敷地の概要

- ・所在地 東京都中野区弥生町4丁目27番29号
- ・敷地面積 9,130.8㎡ (738.3㎡、8,392.5㎡)
- ・前面道路 西側：道路幅員5.4m 北側：道路幅員4m
- ・用途地域 西側：近隣商業地域 中央・北側：第1種中高層住居専用地域
- ・防火指定 西側：防火地域 中央・北側：準防火地域・新防火地域
- ・容積率 西側：400% 中央・北側：200%
- ・建ぺい率 西側：80% 中央・北側：60%
- ・許容延床面積 西側：2,953.2㎡ 中央・北側：16,785.0㎡
- ・許容建築面積 西側：590.6㎡ 中央・北側：5,035.5㎡
- ・高度地区 西側：なし 中央・北側：第1種高度地区
- ・隣地斜線 西側：31m 2.5 中央・北側：20m 1.25
- ・道路斜線 西側：20m 1.5 中央・北側：20m 1.25
- ・日影規制 西側：なし  
中央：範囲5m～ 4.0h  
中央：範囲10m～ 2.5h  
中央：測定水平面 4.0m  
北側：範囲5m～ 3.0h  
北側：範囲10m～ 2.0h  
北側：測定水平面 4.0m

#### ○施設計画

##### 施設配置イメージ1

- ・現在の校舎と芝生運動場の位置に、校舎棟及び体育館を配置
- ・学校への入り口は、児童用は東側（現在の正門）、開放用は西側、搬入用は南側

##### 施設配置イメージ2

- ・芝生運動場含む東側及び北側の位置に、校舎棟及び体育館を配置
- ・学校への入り口は、児童用は東側（現在の正門）、開放用は北東側、搬入用は北側

## 委員長

施設計画について説明があったが、意見のある方はお願いしたい。

## 委員

イメージ1は、芝生運動場の位置に体育館を配置しているように見える。イメージ2は、施設が全部集約された配置になっているが、体育館とプールが同じ棟に入るという案か。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

そうである。

## 委員

イメージ1の校庭は、現況より狭くなっているようだが、今でさえトラックのカーブが急なため運動会などで転ぶ児童が結構いるので、さらに狭くなってしまうとトラックがとれるか心配である。

## 委員

中野神明小学校の運動会の時は、児童と見ている保護者で通行するのも大変なので、学校の規模が大きくなるのだから、校庭も少し余裕があったほうが良いと思う。

委員

中野区の他の小学校で児童数が多い学校の運動会を観ると、トラックを走っている児童と来賓席が近く、危ないと感じた。これから統合により児童数が増えることがわかっているので、校庭を広くする工夫をしてほしい。

委員

校舎を建て替えると、今の位置より内側に建てることになるから難しいとは思っているのだが、統合によって児童数が増えるので、今の校庭よりは広くないときついと思う。

委員長

案を作るにあたって、実際の児童数のボリュームというものを考えられているのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

現在の校庭がかなり狭いということは把握している。案を考えるに当たって、まずは現況の配置をした。その上で、校庭を広くとるために、校舎内の空間構成の工夫やコンパクト化するというような対案を考えることになる。

委員

3階建ての校舎の案になっているが、この地域は、一部4階建ての校舎は無理なのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

不可能ではない。ただ、今回の案は3階建てで考えているので、案の校舎の位置を南側にずらせば可能になるが、面積を十分とれるわけではない。

委員

校舎はもちろんだが、子どもたちが十分に運動できる環境づくりというのも必要なのではないかと思う。

委員

校舎が高層になっても校庭は広くしてもらいたい。

委員

質問だが、イメージ2になった場合は、イメージ1に比べると教室のサイズが違ってくるのか、そういう制約はあるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

教室の面積などに関しては、同じ条件で検討している。体育館に関して高さは同じだが、イメージ1は単独型で造れるが、イメージ2は体育館の下に管理施設や、教職員の職員室などが来るようなイメージなる。

委員

プールはどこに設置されるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

プールは、中野区の基本的な考え方として校舎の屋上に設置することとしている。

委員

体育館の上はどうなのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

体育館の上は構造上の制約などで厳しい。柱と柱の間隔が長くなるので加重が不利である。

委員

プールが屋上に設置されると、隣接している高層マンションからの目線が気になるので、それに対して配慮してほしいという声が保護者から来ている。

委員

中野神明小学校に通っていたが、自分の時も人数が多かったので、学年で区切って校庭や屋上で遊んでいた。今は、屋上は危ないという理由で使用していないので、例えば地下を利用するなどしない限り、現状の限られた敷地で全員が遊ぶということは大変だと思う。

事務局

地下化した場合、工期が延びてしまう。

委員長

多少工期が延びても、将来憂いのない学校をつくるという大義名分もあるのではないか。

委員

校舎の部分の面積というのは、まだ決まっていないのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

中野区が定めている基準をもとに、施設配置案を作成しているが、校舎の機能性や方向性によって増減は可能なので、今後、検討していただければと思う。

委員

イメージ2の北側に配置した校舎をなくして、全て東側にまとめることは可能か。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

北側の校舎は、面積を確保するというものの他に、南側に面した部分が多いほど校舎の日当たりが良くなるとの理由で配置したものである。

委員

イメージ2の北側の校舎は、今の校舎の位置より南に配置されているが、位置をもう少し北にずらすことは出来ないのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

既存の校舎自体、既に日影の規制にかかる位置である。新たに建てる校舎は、現行の法律上では、この位置が北側に寄せられる限界である。

委員

校庭を広くしてほしいということが、今までの主な意見だと思うので、できるだけ広くとれるような、新たな施設配置を出すのは可能か。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

校舎の標準仕様や現行の法律上の規制など制限を受ける部分もあるが、校舎部分の工夫によっては、可能な限り体を動かせるような空間のプランニングは考えられると思う。

委員

新山小学校と多田小学校は、トラックが5コースとれているのが、中野神明小学校だけ4コースしかとれていない。テントが設置されると、テントの後ろの支柱と校舎の壁の幅があまりない状況なので、イメージ1だとかなりきつい感じがある。

委員

イメージ2は、一部4階に出来るのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

イメージ1は3階で検討しているが、イメージ2は一部4階にすることは可能である。

委員

新山小学校は、校庭に仮設のプレハブが建ち狭くなったが、100mトラックがとれたので、10月にちゃんと整って運動会を開くことができる。やはり子どもたちの大きな行事が成立する学校というのが第一だと思う。また、別棟の校舎やコの字のような形の校舎になると、死角がふえてしまうので、できるだけ棟が一つにまとまっていて、全てが見渡せるような校舎配置だと、管理上も良いと思う。

委員

イメージ1は、もう少し芝生運動場へ校舎を持っていけば、長いトラックがとれるのではないかと思う。また、現在の正門の位置をもう少し東にずらせば、校庭としての有効面積が増えると思う。

委員長

各委員から意見が出たようなので、それらをもとに新たな施設配置イメージの作成をお願いする。次の「統合新校改築基本構想・基本計画の検討にあたり実施するアンケートについて」の説

明に進む。

■資料「統合新校改築基本構想・基本計画の検討にあたり実施するアンケートについて」教育委員会副参事（子ども教育施設担当）から説明

（概要）

○実施期間

9月23日から10月14日

○対象

児童（4～6学年）、教職員、保護者（全保護者）、地域住民（学校統合委員会委員の推薦する地域住民）

○実施方法

児童、教職員、保護者には、学校を通じてアンケート用紙を配付し学校が回収を行う。  
地域住民には、学校統合委員会委員（町会・自治会推薦、学校推薦、公募）がアンケートの配付と回収を行う。

委員長

アンケートの実施について説明があったが、意見のある方はお願いしたい。

委員

自分たちが地域住民に配付するということだが、誰を対象にすれば良いのか。

事務局

両小学校を知っている方であれば、どなたでも良い。

委員

町会の役員会で配付することでも良いか。

事務局

それでも良い。

委員長

今は学校から離れている年配者も、広く意見を聞くということで良いのではないか。

事務局

新しい学校に対する思いであるとか、乳幼児のお子さんをお持ちの方とか、お願いしていただければと思う。現在のPTAの方には、学校から配るので、それ以外の方々をなるべく対象にしていただきたい。

委員長

回収したアンケートは、次回の統合委員会のときに提出していただくということで、よろしく願います。

それでは次回の統合委員会でも、統合新校の新校舎の改築について引き続き協議していく。

## 議事(2) 統合新校の校章について

委員長

それでは議事「統合新校の校章について」にすすむ。事務局から資料について説明する。

■資料「みなみの小学校の校章について」事務局から説明

（概要）

- ・前回の統合委員会では、デジタル化した手書きの作品5点と、完成品に近いもの1点をもとに校章について協議し、3点のデザインに絞られた。
- ・3点のデザインについて出されたアレンジ案を専門家に反映した資料である。
- ・本日の協議では、この中から、みなみの小学校の校章としてふさわしいと思われるもの1点を



選定し、校章として決定する。

- 最終デザインが決定された後、校章の説明についても協議を行う。

校章候補デザイン（3点）

	基本デザイン	アレンジ1	アレンジ2
1			
2			
3			

委員長

それでは、本日この3種類のデザインの中からみなみの小学校の校章を決定したいと思うので、各委員のご協力をお願いします。1人ずつ意見を頂戴しながら、決を取りたいと思う。

委員

南方の神の「朱雀」がモチーフとなっている1番のアレンジ1が良い。羽の部分が、校名を手で包みこんでいるようにも見えて良いと思った。

委員

私は1番の基本デザインが良いと思う。

委員

アレンジで羽の部分がわかりやすくなった3番のアレンジ1が良いと思う。

委員

校名は新しく「みなみの」に決まったが、校章は今の新山学校と中野神明小学校の校章を残しつつ一緒になったようなデザインが良いと思うので、3番のアレンジ1が良い。

委員

自分も3番のアレンジ1が良いと思う。

委員

2番のアレンジ1が良いと思う。理由は、「みなみの」というひらがなの校名自体も、中野区では珍しいので、校章のデザインについても、あまりないデザインと思った2番を選んだ。また、この作品の説明にも非常に意味があると思う。

委員

自分も同じ理由で2番のアレンジ1が良いと思う。

委員

校歌に、「羽」や「飛び立つ」とような歌詞があるので、そのイメージにあった3番のアレンジ1が良いと思う。

委員

前は1番が良いと思ったが、3番のアレンジ1が良いと思ったので変更する。

委員

前回、3番のデザインの葉の部分を5枚から3枚へのアレンジをお願いしたが、笹りんどうら

しくなって良かったので、3番のアレンジ1が良いと思う。

委員

1番のアレンジ2が良い。ただ、前回の資料で羽の部分が黒いのがあったが、自分はそれが良かった。

委員

校旗になると、金糸や銀糸で刺繍されるので、平面的に見えるデザインも、また変わってくる可能性もあると思う。

委員

1番の基本デザインが良いと思う。

委員

3番のアレンジ1が良いと思う。

委員

1番のアレンジ1が良いと思う。

委員

2番のアレンジ1で、文字はアレンジ2の大きさにしてほしい。

委員

2番のアレンジ1が良いと思う。

事務局

欠席の委員からは、1番のアレンジ1が良いという意見をいただいている。

委員長

今までの意見をまとめると、1番のデザインは6名、2番のデザインは4名、3番のデザインは7名となっている。3番のデザインを選んだ委員は全てアレンジ1としていることから、これをみなみの小学校の校章と決めたいと思うが如何か。

—異議なし—

委員長

続いて校章の説明について協議したいと思う。応募者のデザインの説明と、今までの統合委員会で出されていた意見の説明を事務局にお願いする。

事務局

3番のデザインの応募者の説明は、「『みなみの』の言葉からイメージする明るい太陽と『小』の字を置き、新山小の笹りんどうの葉を支えに、左右から中野神明小の鳩の羽で包み込むデザイン。両校の卒業生からも温かく見守ってもらえる小学校になってほしいという思いを込めた」という内容である。今までの統合委員会では「両校の校章のイメージが入ったデザインなので、2校が一つになった感じが出ているのが良い」という意見が出されていた。

委員長

それでは、本日出た意見も含め、校章の説明の文案を事務局で作っていただきたい。

また、本日決まった校章については、私と副委員長で教育委員会に報告するが、それに合わせて、校章の説明についても報告するので、最終的な文案の調整は両校と正副委員長にらせていただきたいと思うが如何か。

—異議なし—

### 議事(3) 統合新校の校旗の検討について

委員長

次に議事「統合新校の校旗の検討について」事務局から説明する。

事務局

校旗の制作については、今後、仕様を定めて業者に依頼していくことになるが、年明けに開催する統合委員会でお見せできるように準備を進めていく。

参考に前期の統合で開校している統合新校の校旗の一覧を配付するが、全校、形は横長の長方形で、濃い色の生地を使用しており、校章や校名の刺しゅう部分には金糸や銀糸を使用している。緑野中学校は、校旗に教育目標を入れているが、教育目標は変わる可能性もあるので、他の統合新校では入っていない。

本日は、みなみの小学校の校旗について意見を取りまとめていただきたいが、刺しゅうの部分でどのように金糸や銀糸を使うとか、もしくは刺し方など、そういったことをこの場で決めるのは難しいので、細かい仕様については、両校と事務局とで業者に相談しながら決めていくということでした承していただきたい。統合委員会では、旗の生地の色や形について、意見をいただきたい。

委員長

それでは、細かい仕様については、両校の校長、副校長と事務局とで業者と調整しながら決定するとし、校旗の色や形について、協議したいと思う。

最初に学校から意見を出していただきたいが如何か。

委員

スクールカラーを青系で考えている。体育着や通学帽などをスクールカラーで揃えるので、それを踏まえて校旗についても考えていただけたらと思う。

委員長

学校側からスクールカラーとして考えている青系を基準にしたいという意見があったが如何か。  
—異議なし—

委員長

それでは、校旗の地色は青系を基調としてつくるということで決めたいと思う。

形については、現在の校旗と同じ横型とするか、校名は縦書きか横書きかについても意見をいただきたい。

委員

旗は横型で、校名は縦書きで良いと思う。

委員

中野神明小学校の校旗は、「東京都」が入っているが、それについてはどうなのか。

事務局

前期で作った校旗もそうだが、今は「東京都」は入っていない。

委員長

それでは、校旗は横型で、校名は「中野区立みなみの小学校」を縦書きで入れるとするが如何か。

—異議なし—

#### 議事(4)その他

委員長

それでは、議事「その他」に進む。本日の議事はこれで終了するが、他に何か意見はあるか。特になければ次回の学校統合委員会の開催について日程調整をする。

—日程調整—

委員長

では、次回は10月20日木曜日、午後6時30分から、場所は、南中野区民活動センターとさせていただきます。時期が近くなったら開催通知を送付する。本日の統合委員会は、以上をもって終了する。